

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年																	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~6日	11月 ~13日	11月 ~20日	11月 ~27日	12月 ~4日	12月 ~11日	12月 ~18日	12月 ~25日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	76	34	43	69	64	99	99	47	48	99	14	32	22	9	10	11	8	4
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	29	41	37	62	88	90	30	53	40	44	9	21	16	9	20	33	15	13
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0	0	0	1	1	10	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	4	3	7	5	5	3	16	12	12	14	1	0	3	1	2	0	0	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	35	12	25	20	32	22	26	19	13	20	2	6	7	3	6	2	2	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	19	10	9	19	28	9	17	18	15	16	5	7	2	6	4	5	1	4
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	3	0	0	0	1	3	4	1	5	4	1	0	0	0	1	1	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	5	7	3	2	1	0	0	1	2	3	1	0
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	4	0	7	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1

\* ( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和4年第51週(12月19日~12月25日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	5	結核	5			5					
三類	0	発生なし	0								
四類	0	発生なし	0								
五類	19	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2				2				
		急性脳炎	1				1				
		後天性免疫不全症候群	1							1	
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1			1					
		百日咳	1					1			
		梅毒	13	1					11		1
新型コロナウイルス感染症	34,411	新型コロナウイルス感染症	34,411	3,685	2,751	3,413	889	14,114	2,322	7,237	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

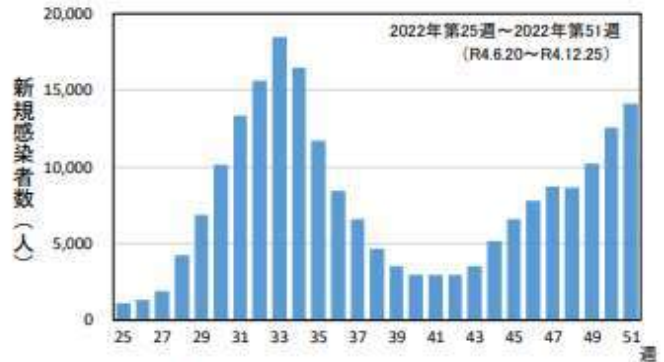
1 新型コロナウイルス感染症

第51週に14,114件の報告があり、増加が続いています。現在、広島県は「医療非常事態警報」を発出しており、確保病床を最終段階である「緊急フェーズ2」に引き上げて対応しています。

年末年始は、帰省や旅行など人の移動が活発になり、普段会わない人との会食等が増えると予想されます。これ以上の感染拡大を防止するため、感染予防対策を徹底しましょう。

また、多くの医療機関が年末年始は休診となります。感染に備えて、電話相談窓口の連絡先等を確認しておきましょう。

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移(広島市)



【参考】新型コロナウイルス感染症に関する情報(広島県) <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/>

2 感染性胃腸炎

定点当たり8.38人の報告があり、増加が続いています。冬季はノロウイルス等による感染性胃腸炎が多くなります。手洗いの励行、便・吐物の適切な処理、次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒など感染予防対策を徹底しましょう。

3 梅毒

今年の累計は313件となり、非常に多い状況が続いています。梅毒は性的な接触により感染し、治療せずに放置すると、脳や心臓などに重大な病変を起こすことがあるため、早期発見・早期治療が大切です。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	1	0.03	8.98	
	咽頭結膜熱	3	0.14	0.34	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	0.43	2.19	↓
	感染性胃腸炎	176	8.38	8.11	↔
	水痘	1	0.05	0.40	
	手足口病	1	0.05	0.96	
	伝染性紅斑	-	-	0.19	
	突発性発しん	2	0.10	0.24	
	ヘルパンギーナ	2	0.10	0.21	
	小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.07
眼科	RSウイルス感染症	2	0.10	0.23	
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
眼科	流行性角結膜炎	1	0.13	0.65	
基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06	
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
5	急性脳炎	1	11	10歳未満
5	梅毒	11	313	20歳代・3人、30歳代・1人、40歳代・3人、50歳代・4人
5	百日咳	1	5	40歳代